

# 国の事業に対する高山市の取り組み

## ① 中部縦貫自動車道 高山清見道路

高山清見道路は「中部縦貫自動車道」の飛騨清見IC～丹生川IC（仮称）区間の名称で、高山市内と東海北陸自動車道との直結による高速交通サービスの提供、市内の交通混雑の緩和、地場産業振興などの地域発展の支援等を目的に計画され、現在は高山ICまでが開通済みです。令和8年度も引き続き工事を推進します。

なお、令和7年12月には、高山ICから丹生川IC（仮称）の間に、市が主体となって新たなICを設置することが許可されました。

① 下切高架橋（仮称）  
（高山清見道路の工事中間区間）



●中部縦貫自動車道 高山清見道路  
未供用区間である高山IC～丹生川IC（仮）  
区間の工事進捗状況

## ② 中部縦貫自動車道 高山東道路 （平湯～久手）

高山東道路は「中部縦貫自動車道」の平湯IC～丹生川IC（仮称）区間の名称で、線形不良箇所の回避及び高山市街地と上高地等の岐阜・長野県境の主要な観光資源の移動時間短縮が図られ、観光周遊性の高いネットワークを構築します。

令和6年度に平湯IC～久手IC（仮称）間が事業化され、令和8年度も引き続き、調査設計を推進します。



●中部縦貫自動車道 高山東道路  
令和6年度新規事業化

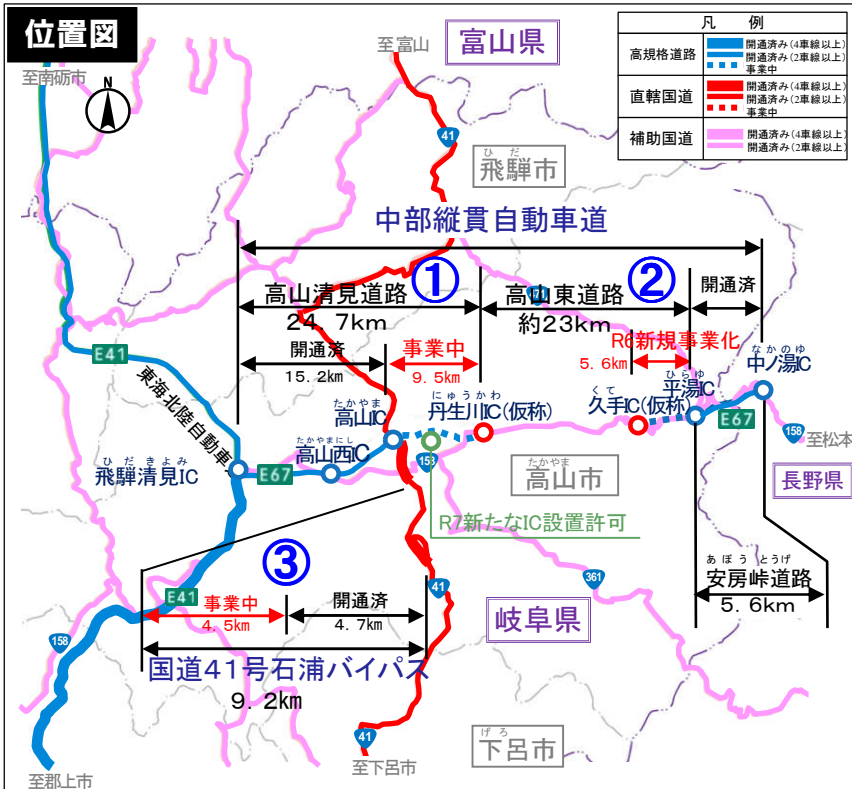
## ③ 国道41号 石浦バイパス

石浦バイパスは、飛騨地域の主要路線である国道41号の渋滞緩和、落石危険箇所の回避及び地域連携等を目的に計画された道路であり、宮峠トンネル（高山市久々野町久々野～高山市一之宮町）は令和2年12月に開通しています。一之宮町～千島町の区間について、令和8年度も引き続き、用地買収を推進します。

③ 宮峠トンネル  
（石浦バイパスの一部区間）



●国道41号 石浦バイパス  
トンネル開通（R2）により急カーブが連続し  
冬期の通行難所区間である宮峠を回避する  
ことが可能となった



### 【建設課職員の業務】

高山市は「中部縦貫自動車道」及び「国道41号石浦バイパス」の建設促進のため、次の業務を行っています。

国の事業進捗には、関係者の質問や要求に的確に回答できる市の土木系技術職員の関与が必要不可欠です。

#### ①道路の早期完成に向けた要望活動の実施

- ・市長や関係機関とともに、国土交通省や財務省などを訪問し、要望活動を実施しています。

#### ②橋梁、トンネル工事などの工事説明会の開催

- ・沿線住民や地域への工事周知や対話のため、国と合同で説明会を実施しています。

#### ③関係機関との調整

- ・道路を造るには様々な機関との調整が必要です。例えば、通学路を工事用道路として使用する場合、関係者と安全対策の打合せが必要となります。このような場合に、建設課が国と関係機関とのパイプ役を行っています。

#### ④用地交渉・取得

- ・国から委託を受けて、事業用地の一部を市の職員が交渉、取得しています。

#### ⑤その他

- ・工事で発生する残土の受入地を確保するための協力や、関連する流末排水路の整備などの工事を実施しています。